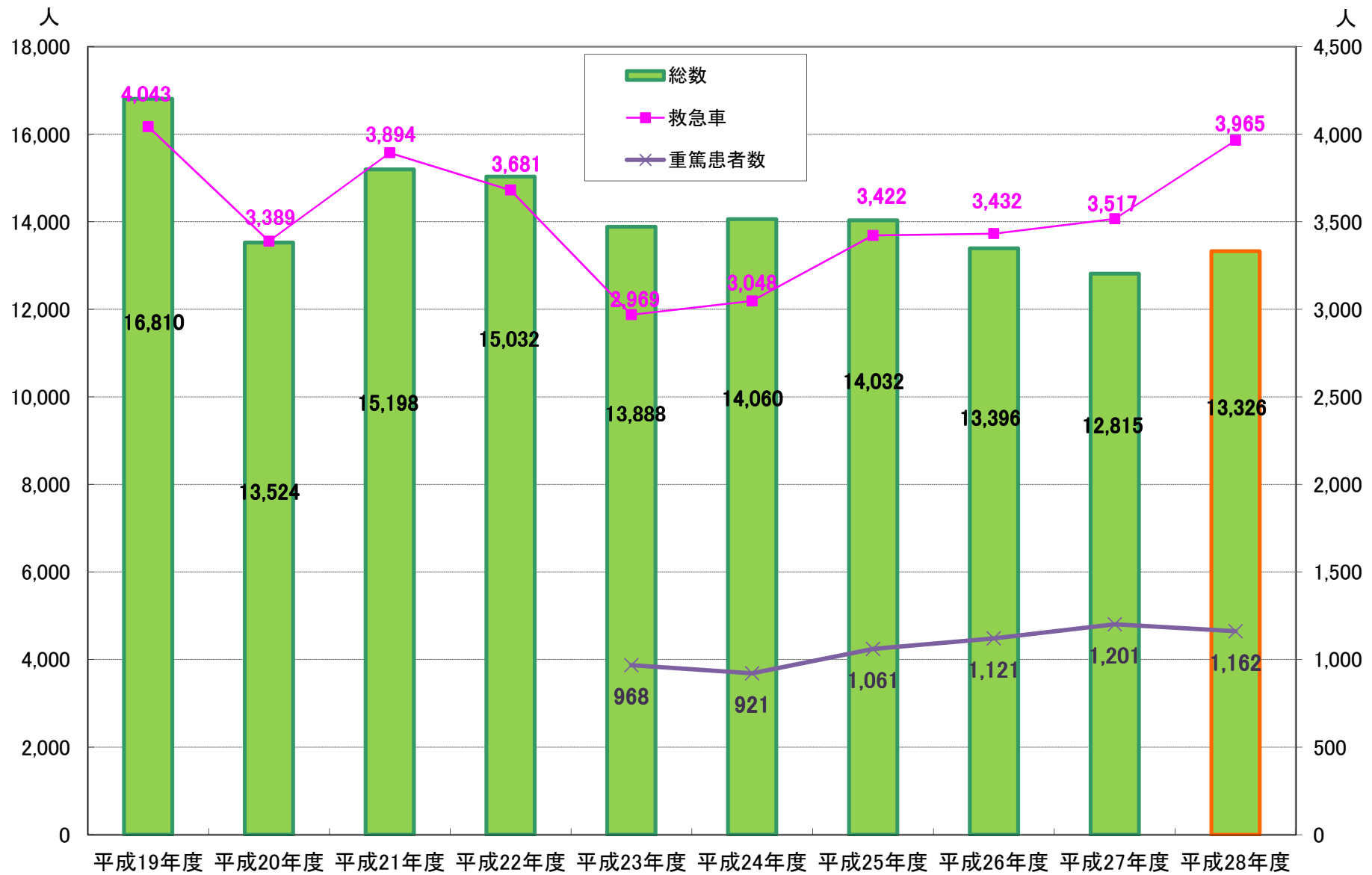
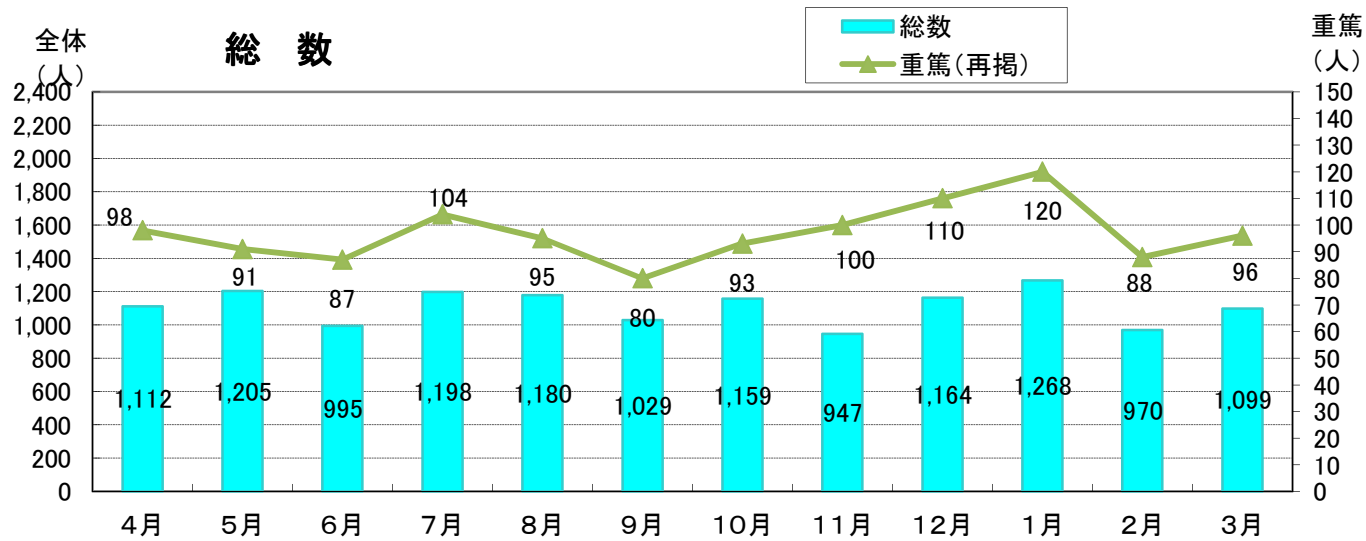


1. 救命救急センター取扱患者年度別推移(総数・救急車・重篤)

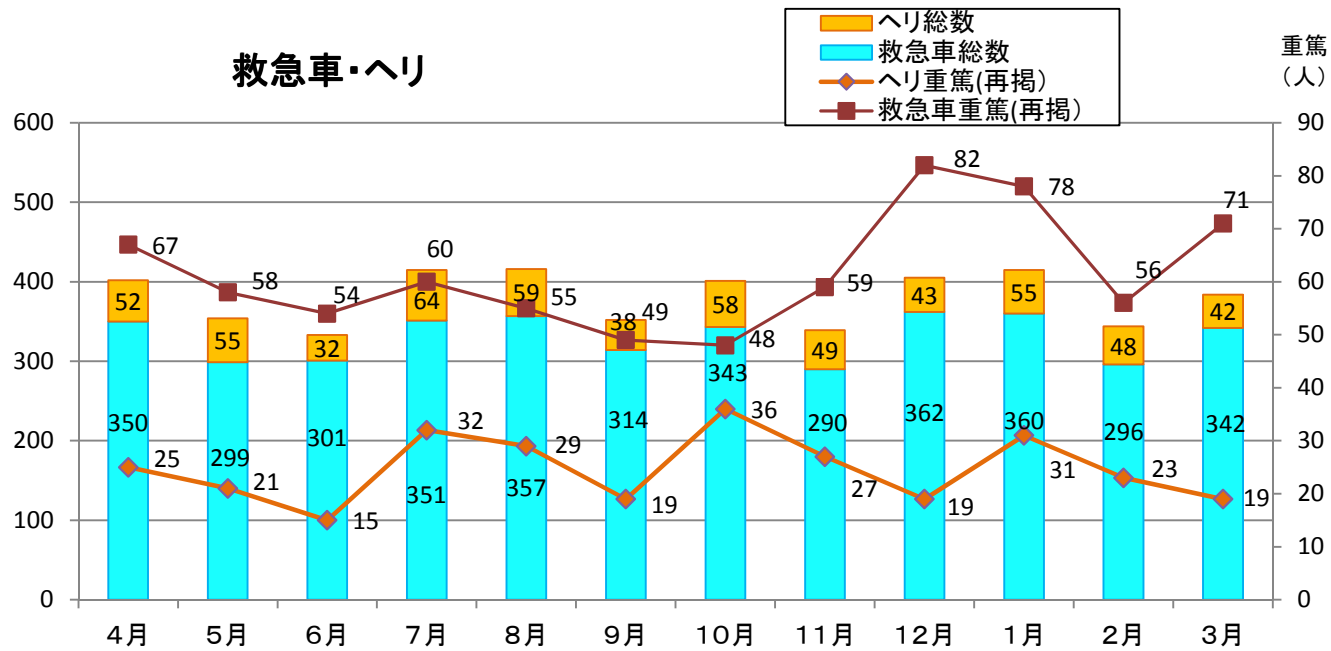


※重篤患者数:厚労省による救命救急センター現況調査において、指定する基準を満たす重篤な患者の数

2. 救命救急センター一月別取扱患者数

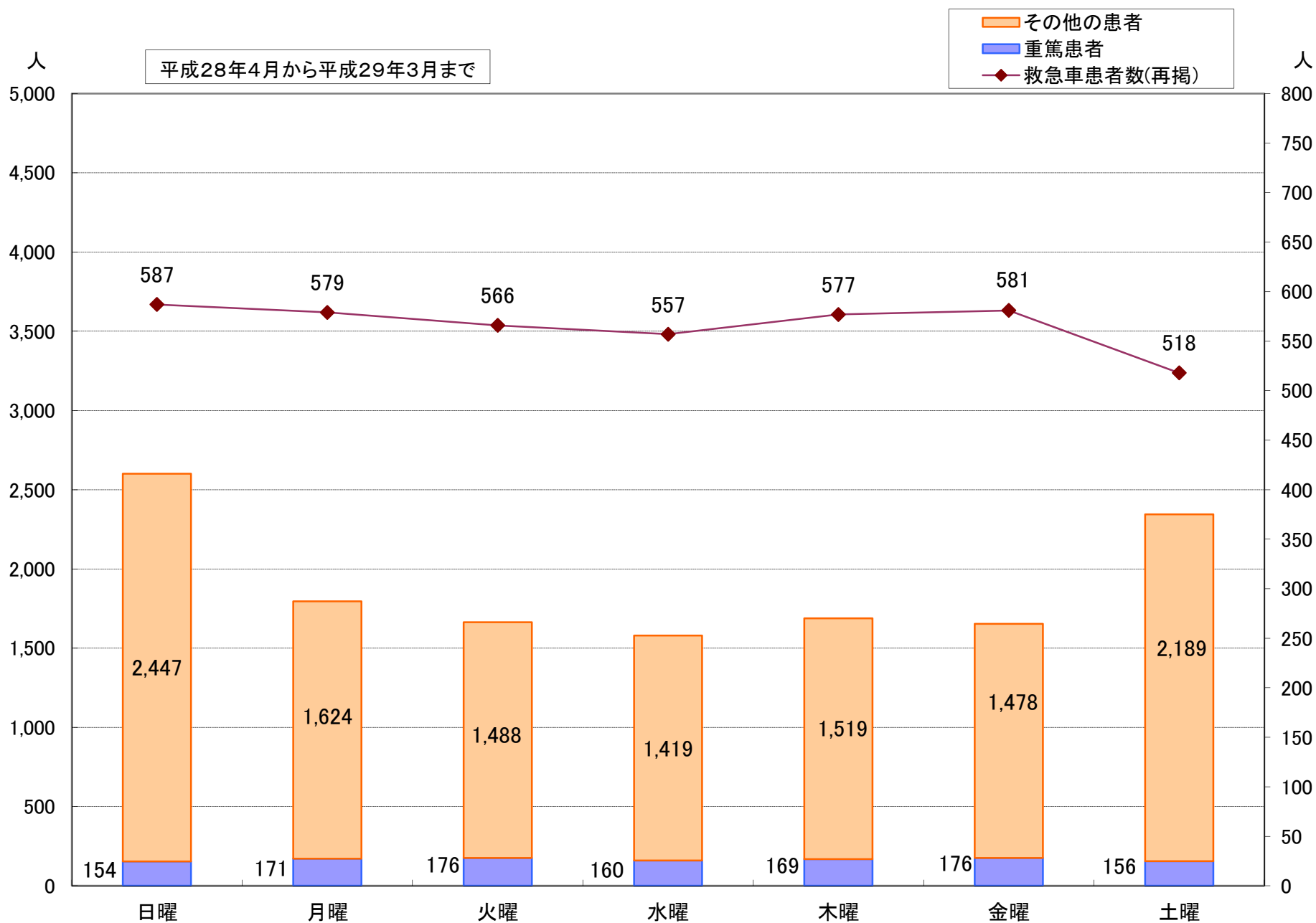


総数	13,326 人
重篤患者数	1,162 人

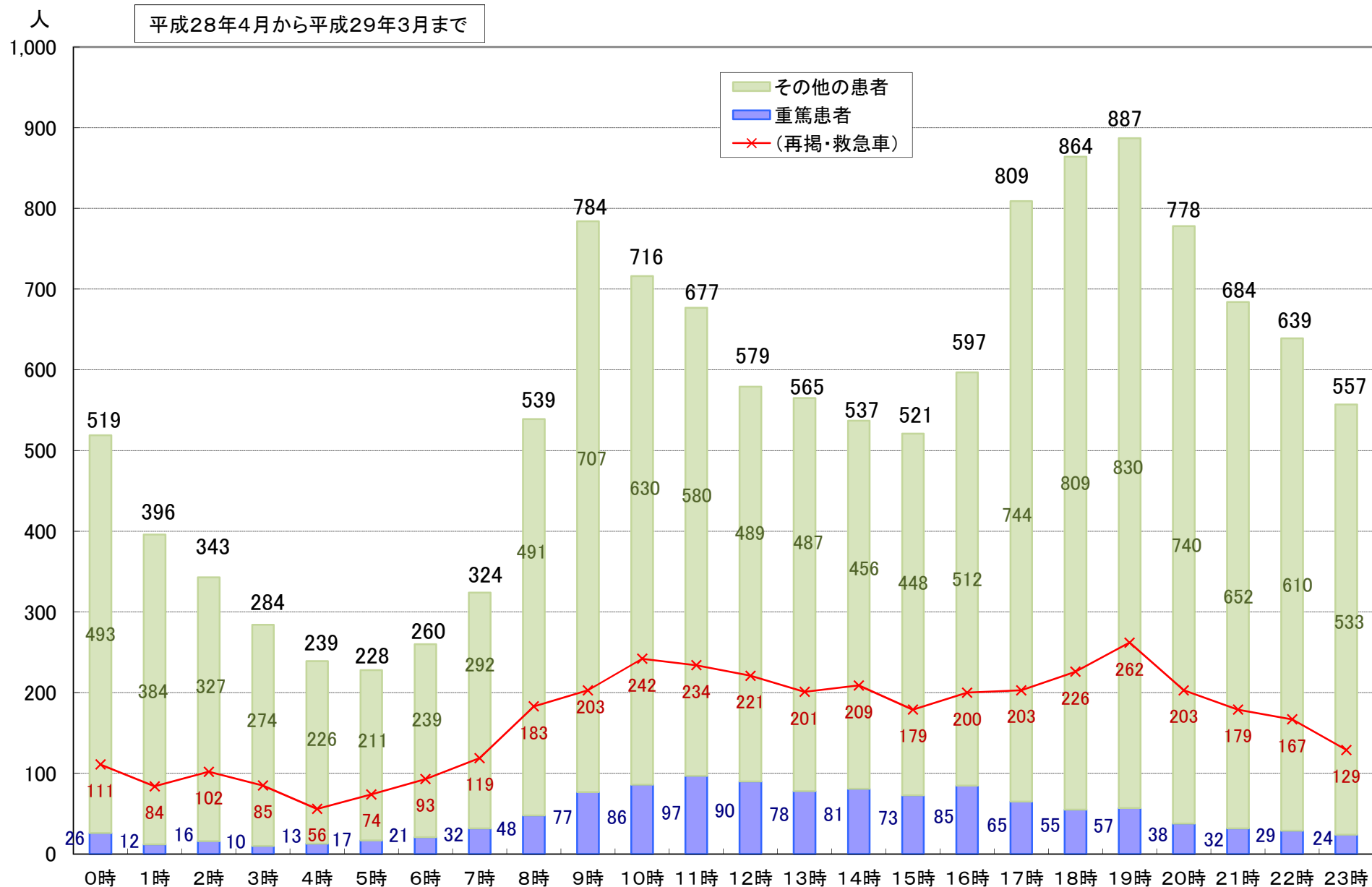


救急車総数	3,965 人
救急車重篤	737 人
ヘリ総数	595 人
ヘリ重篤	296 人

3. 曜日別救急患者・救急車患者数調

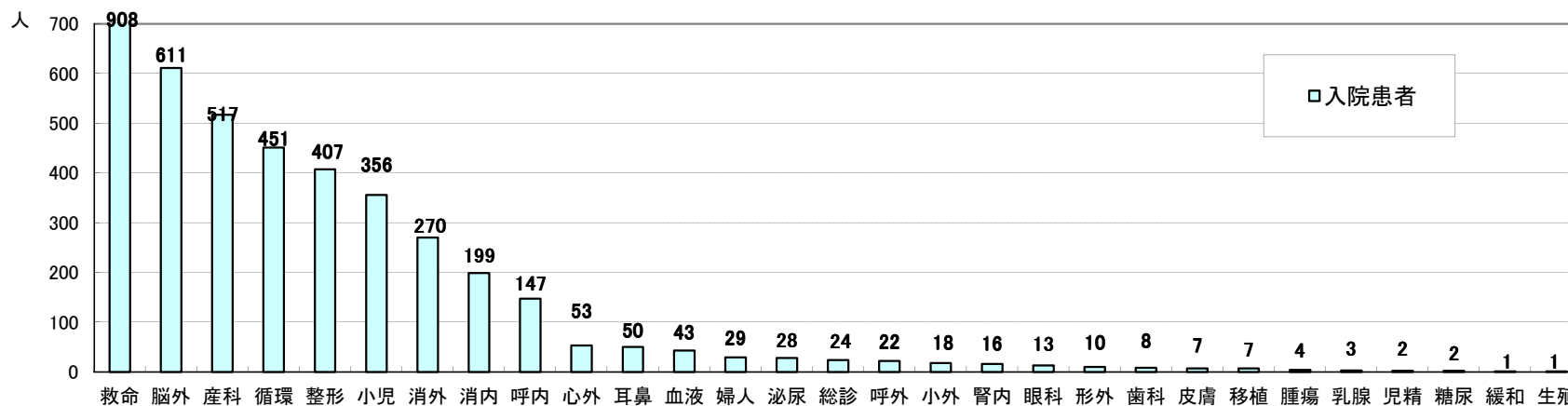


4. 時間帯別救急患者数調



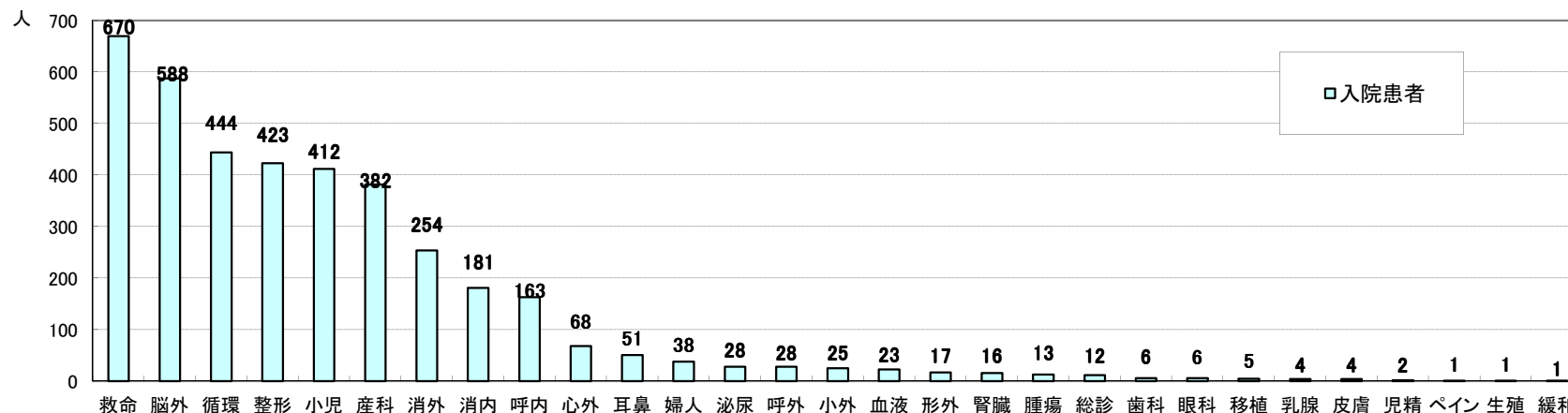
5. 平成28年度 診療科別救急患者数調

平成28年度



H28	救命	脳外	産科	循環	整形	小児	消外	消内	呼内	心外	耳鼻	血液	婦人	泌尿	総診	呼外	小外	腎内	眼科	形外	歯科	皮膚	移植	腫瘍	乳腺	児精	糖尿	緩和	生殖	リハ	合計
入院患者	908	611	517	451	407	356	270	199	147	53	50	43	29	28	24	22	18	16	13	10	8	7	7	4	3	2	2	1	1	1	1

平成27年度

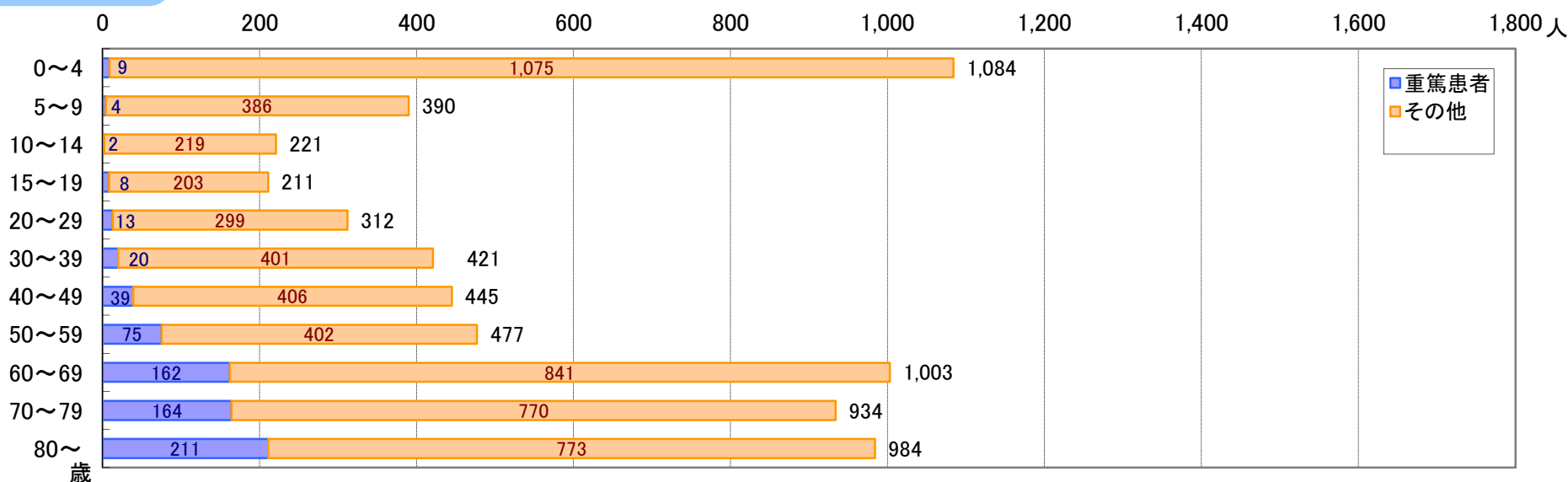


H27	救命	脳外	循環	整形	小児	産科	消外	消内	呼内	心外	耳鼻	婦人	泌尿	呼外	小外	血液	形外	腎臓	腫瘍	総診	歯科	眼科	移植	乳腺	皮膚	児精	ペイン	生殖	緩和	リハ	合計
入院患者	670	588	444	423	412	382	254	181	163	68	51	38	28	28	25	23	17	16	13	12	6	6	5	4	4	2	1	1	1	1	3,866

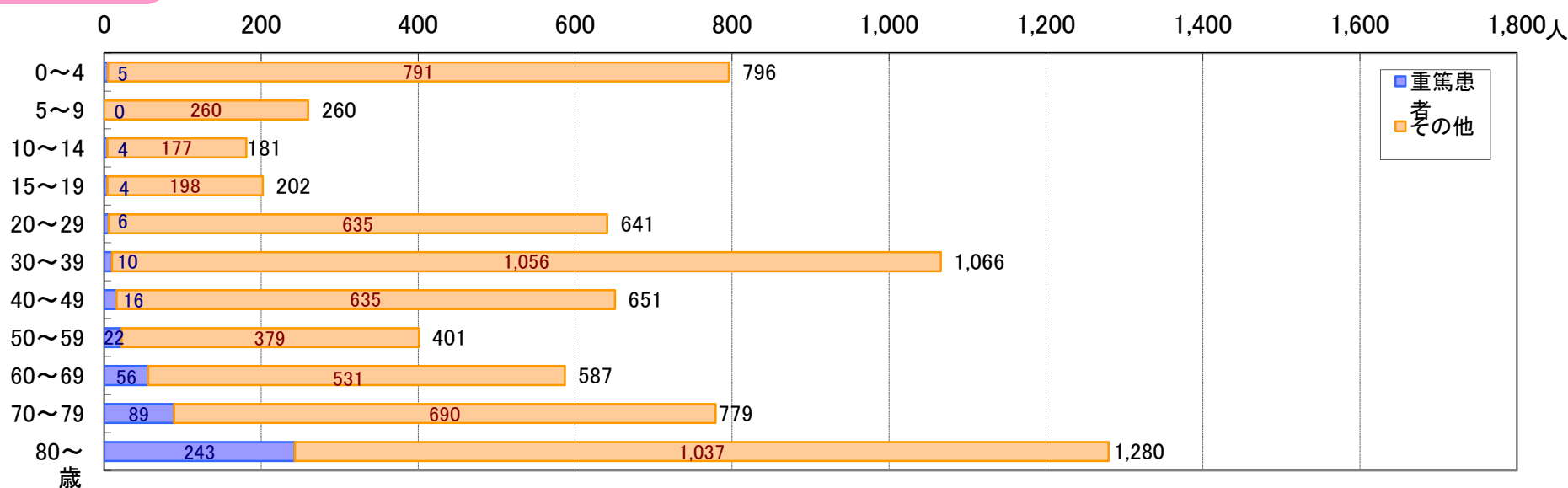
6. 年齢別・男女別取扱患者数

(平成28年4月から平成29年3月まで)

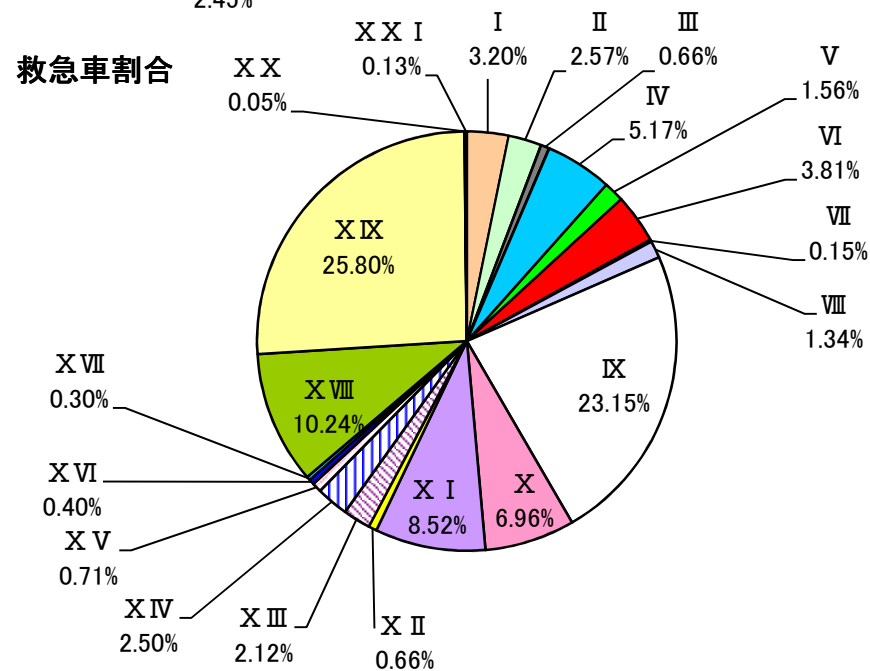
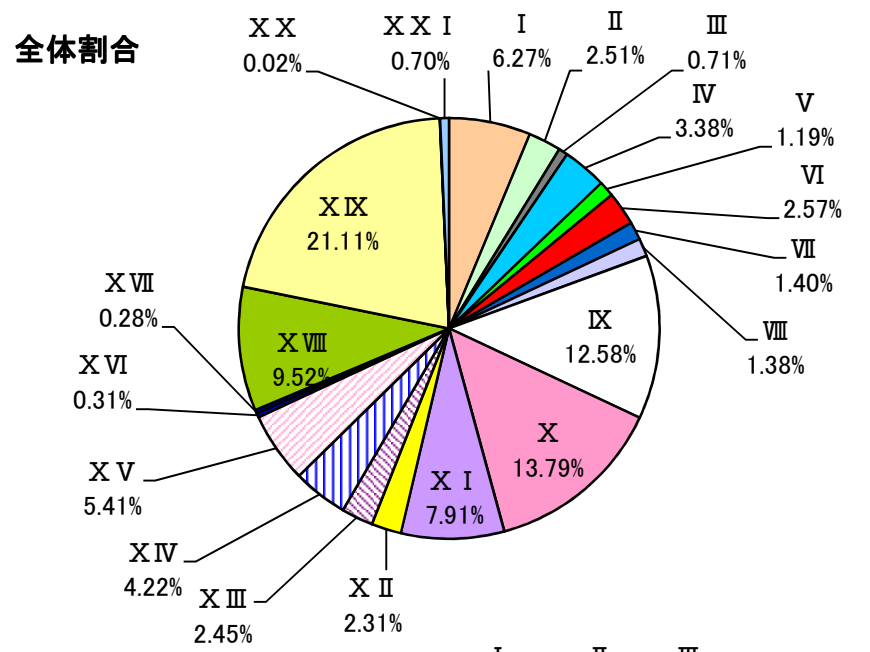
男 6,482人



女 6,844人



7. 疾病別取扱患者数

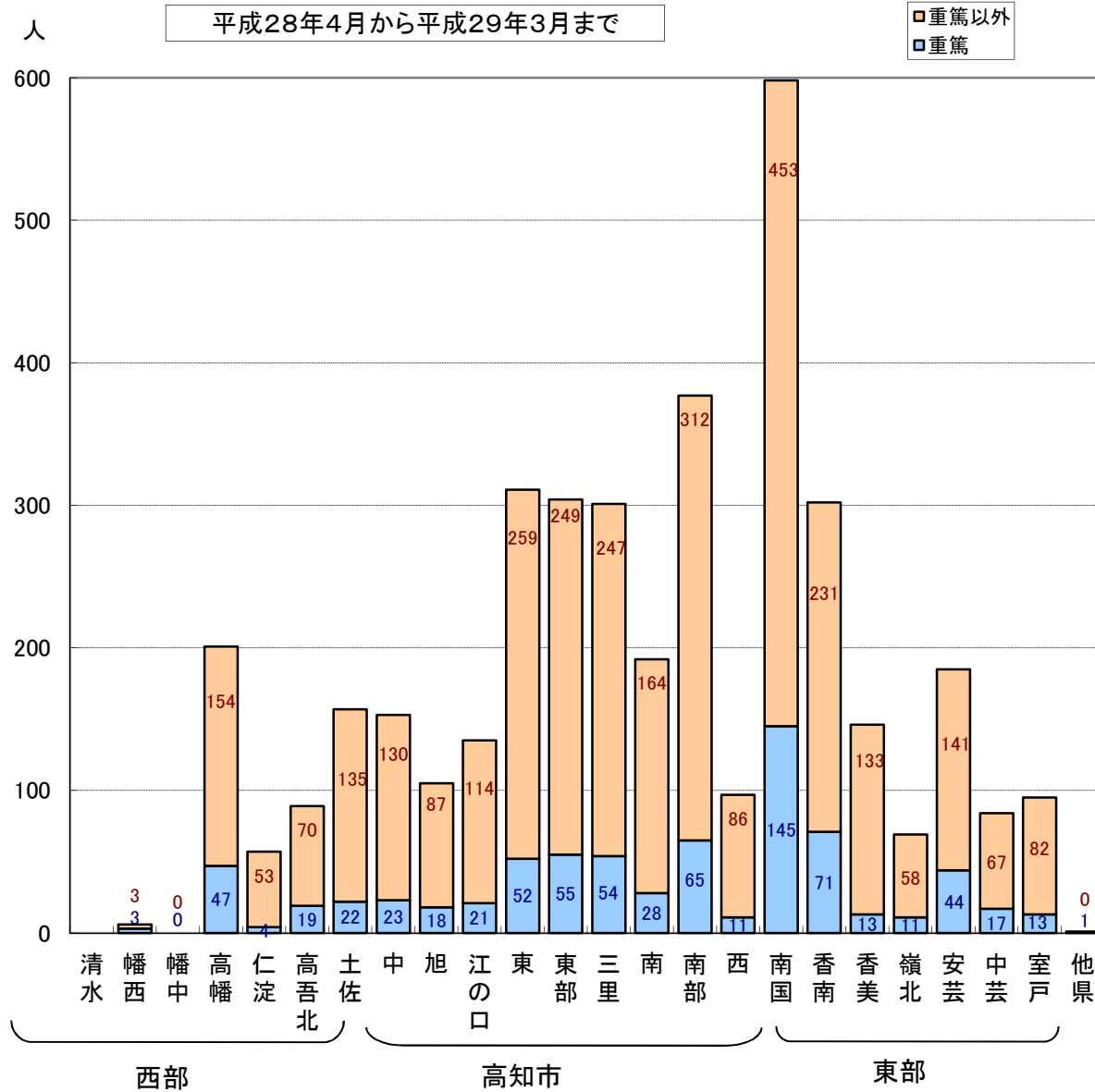


平成 28 年度

疾病区分		全体	救急車
I	感染症及び寄生虫症	835	127
II	新生物	334	102
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	94	26
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	451	205
V	精神及び行動の障害	158	62
VI	神経系の疾患	342	151
VII	眼及び付属器の疾患	187	6
VIII	耳及び乳様突起の疾患	184	53
IX	循環器系の疾患	1) 1,677	2) 918
X	呼吸器系の疾患	1,838	276
X I	消化器系の疾患	1,054	338
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	308	26
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	326	84
X IV	尿路性器系の疾患	562	99
X V	妊娠、分娩及び産じょく	721	28
X VI	周産期に発生した病態	41	16
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	37	12
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,269	406
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,813	1,023
X X	傷病及び死亡の外因	2	2
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	93	5
合計		13,326	3,965

※脳血管疾患
 1) 566 件
 2) 327 件 を含む

8. 平成 28 年度 救急車地域別搬入患者数



		全体	重篤	重篤以外
西部	清水	0	0	0
	幡西	6	3	3
	幡中	0	0	0
	高幡	201	47	154
	仁淀	57	4	53
	高吾北	89	19	70
	土佐	157	22	135
	合計	510	95	415
	%	12.9%	12.9%	12.9%
高知市	中	153	23	130
	旭	105	18	87
	江の口	135	21	114
	東	311	52	259
	東部	304	55	249
	三里	301	54	247
	南	192	28	164
	南部	377	65	312
	西	97	11	86
	合計	1,975	327	1,648
%	49.8%	44.4%	51.1%	
東部	南国	598	145	453
	香南	302	71	231
	香美	146	13	133
	嶺北	69	11	58
	安芸	185	44	141
	中芸	84	17	67
	室戸	95	13	82
	合計	1,479	314	1,165
	%	37.3%	42.6%	36.1%
小計	3,964	736	3,228	
%	100.0%	99.9%	100.0%	
その他	他県	1	1	0
	合計	1	1	0
	%	0.0%	0.1%	0.0%
総合計	3,965	737	3,228	
%	100%	100%	100%	

9. 平成28年度 救命救急センター事業

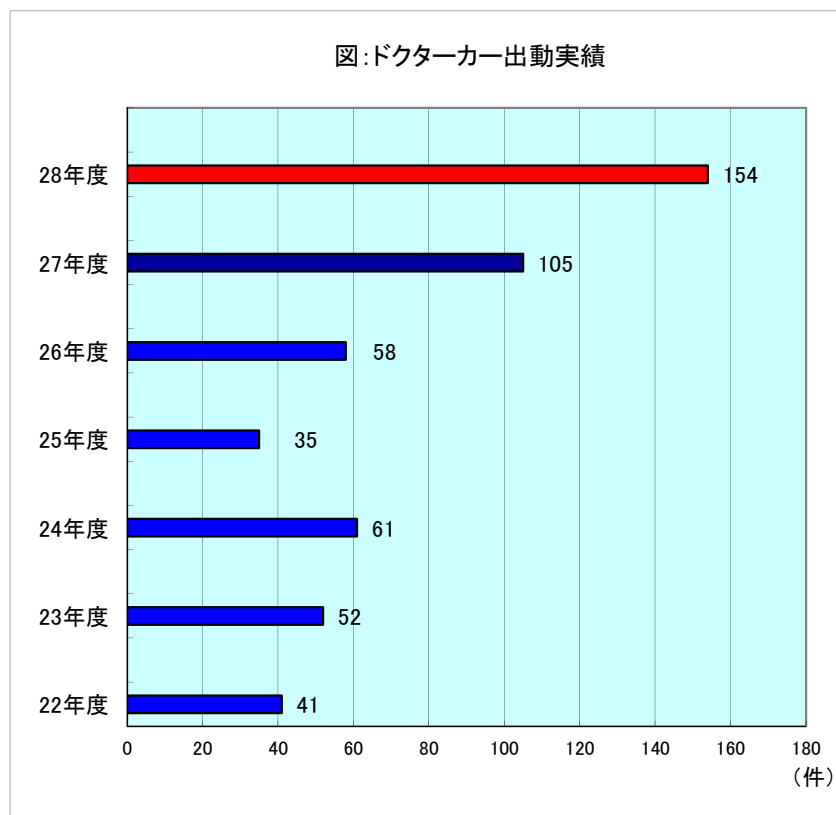
講義・実習	センター会議・症例検討会	院外会議・研修会
	4/25 第163回救急医療症例検討会 【高知医療センターにて開催】 ・自殺企図患者との関わりからの学び ・バイク運転中に橋から転落した20代男性の外傷事案 ①FMRCとの連携活動 ②重症肺損傷に対するECMOを用いた集中治療	参加者 103名
	5/14 平成28年度第1回高知医療センターICLSコース	受講生 18名
6月～29年3月(うち18日) 高知県消防防災航空隊病院研修(9名)	5/23 第78回高知医療センター救急症例検討会 ・せん妄と薬剤投与について ・初期波形VFの2事案 ①40代男性『胸を痛がっている。動けない。』 ②50代男性『突然倒れて、いびきをかいている。』 ・体外循環式心肺蘇生(ECPR)を実施し経皮的冠動脈形成術施行後に社会復帰した2症例	参加者 91名
6/6～7/1 救急救命士就業前病院実習(3名)		
7/4～8/1 救急救命士就業前病院実習(3名)		
7/6～12/13 救急救命士再教育に係る病院実習(15名)	6/27 第17回ドクターヘリ事後症例検討部会 ・高知県ドクターヘリの活動実績について ・脳卒中疑いで覚知要請された1事例 ・顔面熱傷と気道熱傷の2例 ・覚知要請のための入電内容聴取参考シートについての説明	参加者 135名
8/2～9/15 救急救命士再教育に係る病院実習(5名)		
8/22～8/26 陸上自衛隊病院実習(2名)	7/25 第166回救急医療症例検討会 【高知医療センターにて開催】 ・ICUダイアリーの活用 ～せん妄予防の観点から～ ・再発性鼠径ヘルニア嵌頓による敗血症性ショックの一事案 ・敗血症の所見とそれに対する治療について	参加者 83名
8/22～8/31 救急救命士研修所生養成課程(1名)		
	8/22 第79回高知医療センター救急症例検討会 ・脊髄損傷患者の看護を精神的側面から考える ～フランクの危機モデルに照らして～ ・体幹部挟圧外傷について 外傷性窒息の一事案	参加者 94名
9/5～9/9 陸上自衛隊病院実習(3名)		8/30 救急救命センター連絡協議会
9/12～9/16 薬剤投与実習(1名)	9/12 平成28年度1回救命救急センターセミナー 『人工呼吸器のやさしい使い方』 Intermountain LDS Hospital 呼吸器内科・集中治療科 田中 竜馬 先生	参加者 138名
9/26～9/30 陸上自衛隊病院実習(3名)	9/26 第18回ドクターヘリ事後症例検討部会 ・高知県ドクターヘリの活動実績について ・顔面外傷と気道管理について ・顔面外傷のいろいろ	参加者 93名
9/26～10/15 救急救命士専門学校病院実習(2名)		
10/3～11/30 救急救命士再教育に係る病院実習(15名)	10/15 平成28年度第2回高知医療センターICLSコース	受講生 18名
10/4～3/16 救急救命士再教育に係る病院実習(34名)	10/16 平成28年度第3回高知医療センターICLSコース	受講生 18名
10/11～10/14 陸上自衛隊病院実習(3名)	10/24 第169回救急医療症例検討会 【高知医療センターにて開催】 ・患者家族の代理意志決定を支える看護の検討 ～CPA患者の事例を通じて～ ・『気持ちの悪いバイタルサイン』腹部大動脈瘤破裂	参加者 88名
10/19～12/1 救急救命士再教育に係る病院実習(10名)		11/17～19 全国救命救急センター長会議 第44回日本救急医学会総会・学術総会
10/24～10/28 陸上自衛隊病院実習(3名)		
11/1～11/30 救急救命士専門学校病院実習(1名)	12/19 第18回ドクターヘリ事後症例検討部会 ・高知県ドクターヘリの活動実績について ・ドクターヘリを活用したMobile t-PA静注療法におけるフライトナースの役割 ・ドクターヘリ・防災ヘリと連携した外傷事案 ・交通外傷広域搬送症例	参加者 115名
11/24～12/9 救急救命士再教育に係る病院実習(4名)		
12/7～12/8 消防職員専科教育(救急科)病院実習(12名)		

講義・実習	センター会議 ・ 症例検討会	院外会議 ・ 研修会
1/10 ～3/21 救急救命士再教育に係る病院実習(3名) 1/13 ～1/24 救急救命士再教育に係る病院実習(2名) 1/23 ～2/1 救急救命士研修所生養成課程(3名) 2/1 ～3/15 救急救命士再教育に係る病院実習(10名) 2/14 ～2/27 救急救命士再教育に係る病院実習(3名) 3/2 ～3/27 救急救命士再教育に係る病院実習(10名)	1/14 平成28年度第4回高知医療センターICLSコース 受講生 18名 2/27 第172回救急医療症例検討会 参加者 73名 【高知医療センターにて開催】 ・ICUダイアリーの取り組みについて ・『平成27年における本邦ドクターカー運用の実態 ～全国248地域メディカルコントロール協議会を通じた アンケート調査～』から 3/15 平成28年度第2回救命救急センターセミナー 参加者 25名 『沖縄県における、研修医教育・救急医療・病院前活動に ついて』 沖縄県南部医療センター・こども医療センター 救命救急センター長 梅村 武寛 先生	

10.ドクターカー出動実績 平成 22年度～平成28年度

平成	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
出動回数	41	52	61	35	58	105	154	352

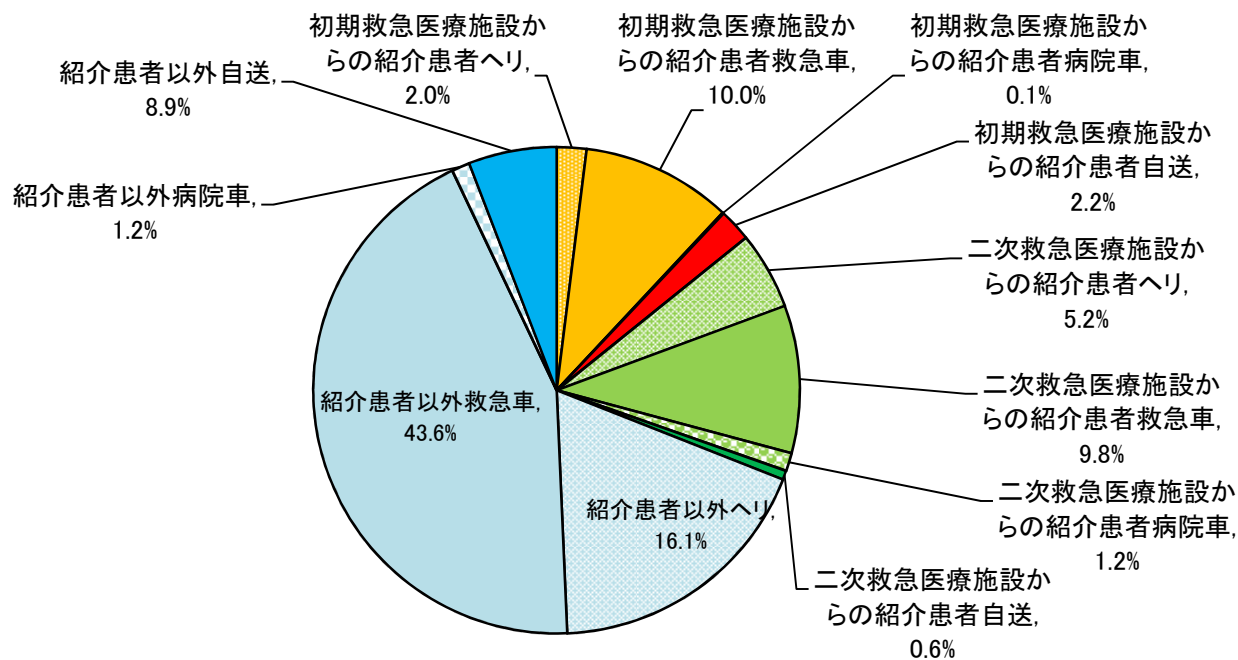
↑
平成22年8月12日運行開始



●平成28年度地域別出動区分別出動件数

区分	地域				総計
	西部	高知市	東部	県外	
現場	0	24	9	0	33
ランデブー	23	24	47	0	94
要請解除	1	10	16	0	27
総計	24	58	72	0	154

11. 救命救急センター取扱三次患者内訳(紹介患者搬送別)



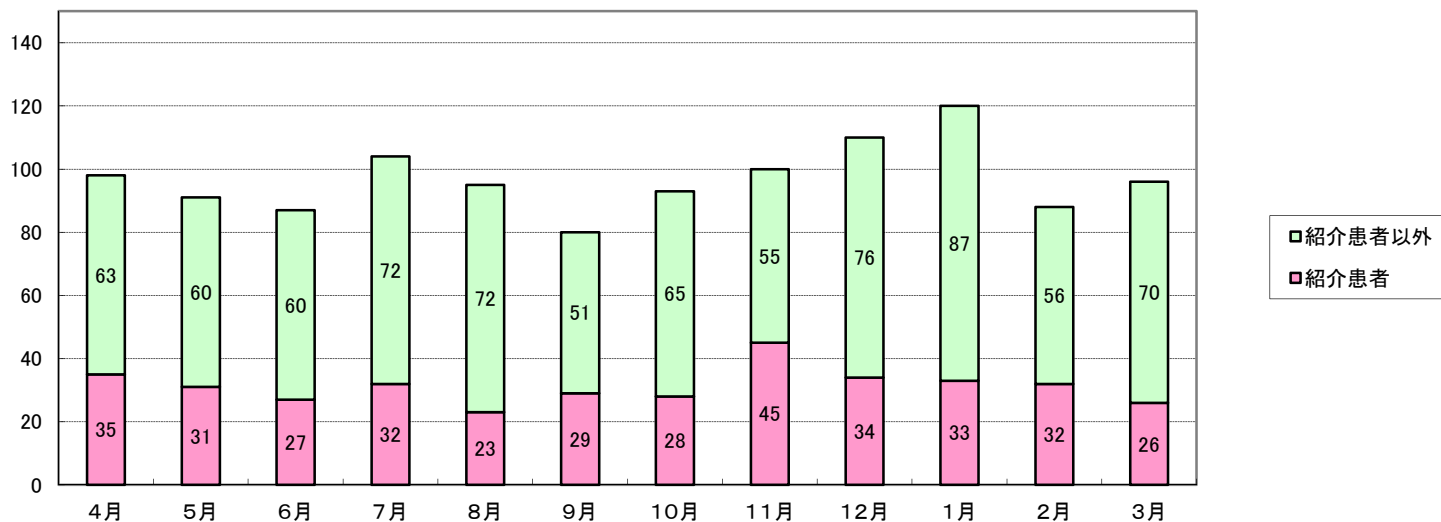
	人数	%
ヘリ	296	25.5%
救急車	737	63.4%
自送	100	8.6%
入院	1162	100.0%
外来	0	0.0%

※病院車は救急車に含む

紹介患者	紹介患者以外	総計
375	787	1162

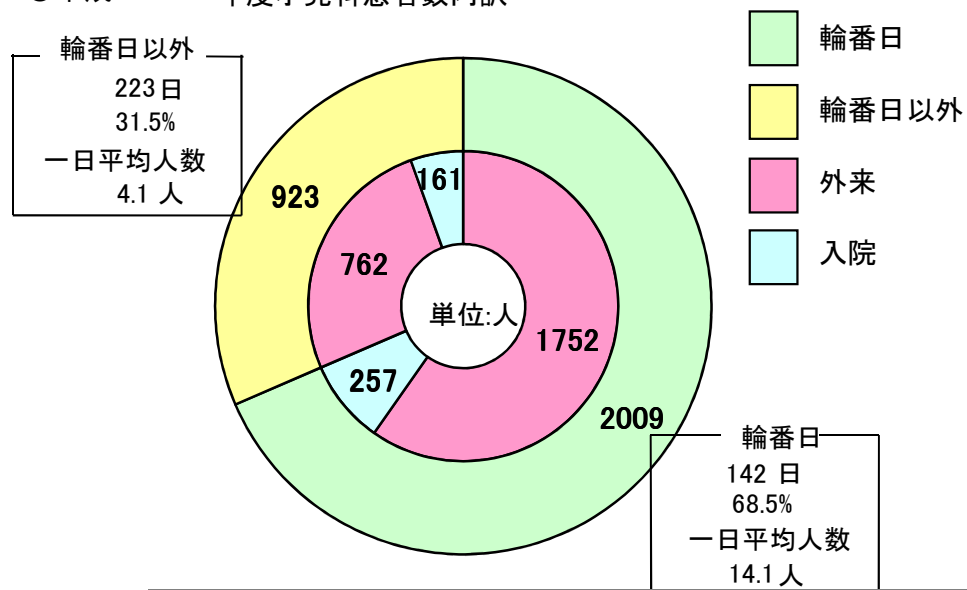
※三次救急医療施設からの16件は紹介患者以外に含む
(近森病院9件、高知赤十字病院6件、県外1件)

平成28年度 月別三次患者数(紹介患者別)



12.平成28年度 救命救急センター取扱小児科患者内訳(輪番日別)

●平成 24～28 年度小児科患者数内訳

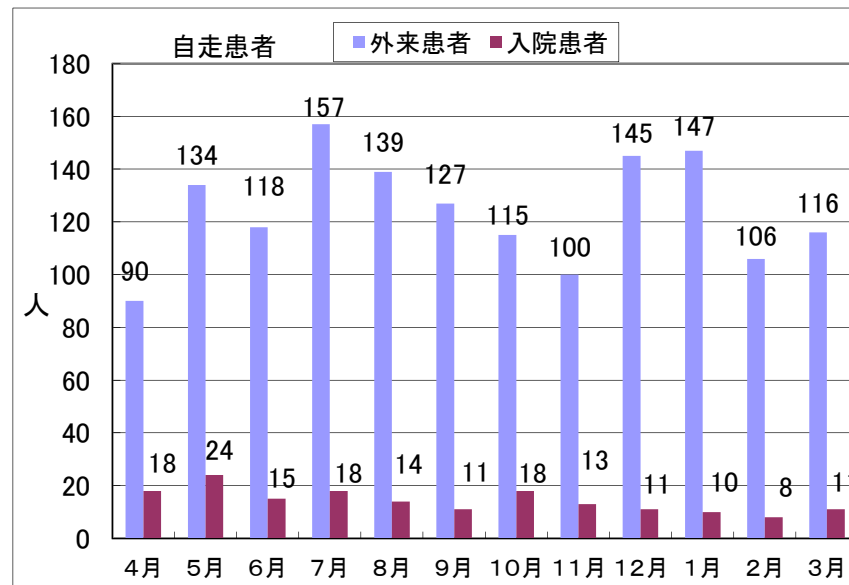
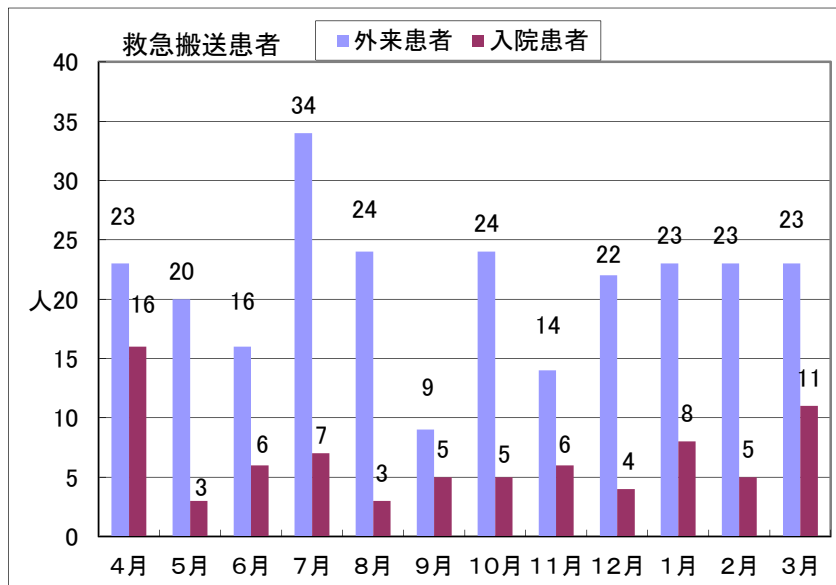


	人数	%	一日平均
入院	418	14.3%	/
外来	2,514	85.7%	/
小児科全体	2,932	100.0%	8.0

年度別患者数

年度	輪番日患者数			輪番日以外患者数			小児科患者合計		
	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均
H28	2,009	142	14.1	923	223	4.1	2,932	365	8.0
H27	1,997	144	13.9	982	222	4.4	2,979	366	8.1
H26	2,068	146	14.2	969	219	4.4	3,037	365	8.3
H25	2,090	147	14.2	1,013	218	4.6	3,103	365	8.5
H24	2,434	159	15.3	1,058	206	5.1	3,492	365	9.6

●輪番日における小児科患者搬送別・入院患者数



13. 平成28年度 t-PA施行症例数_月別推移

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28	12	5	5	8	10	7	8	12	9	10	10	8	104
H27	1	7	6	6	9	9	9	9	16	12	10	11	105
H26	2	3	4	2	2	1	3	5	2	1	4	4	33
H25	2	2	2	2	3	1	4	5	3	0	0	3	27
H24	1	0	0	1	1	0	1	4	4	0	1	1	14

14. 平成28年度重篤患者数

年間重篤患者数(平成28年4月～平成29年3月)

一つの症例で複数の項目に該当する場合は、最も適切なもの一つのみを選択する。

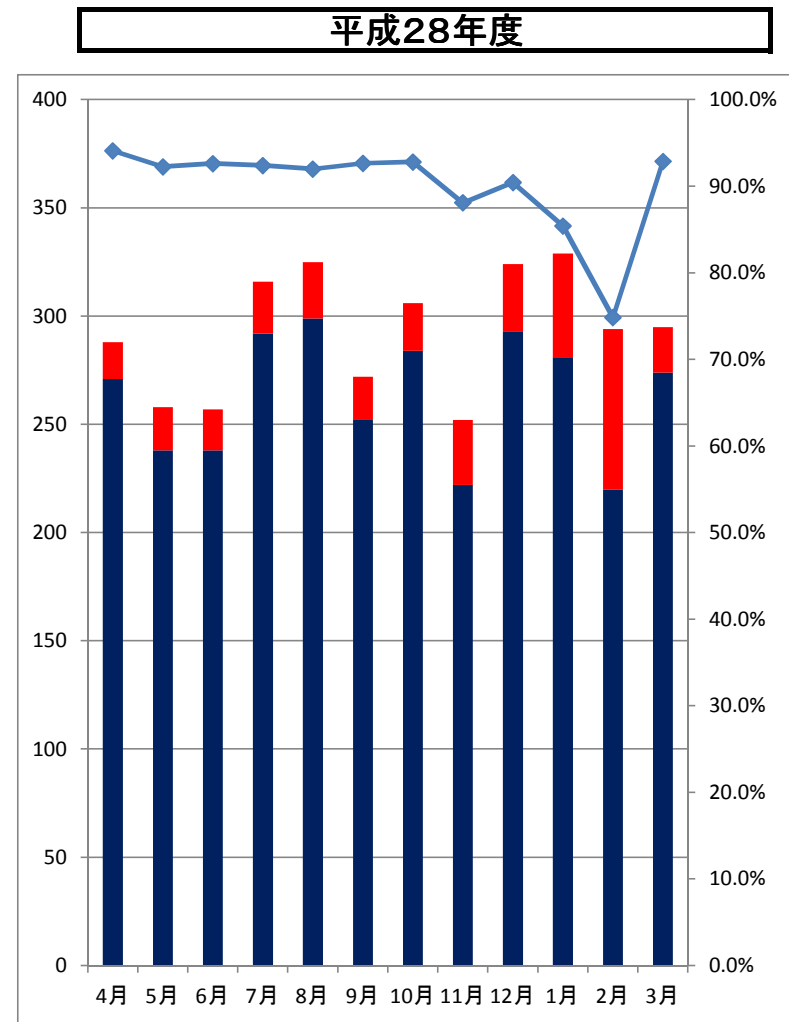
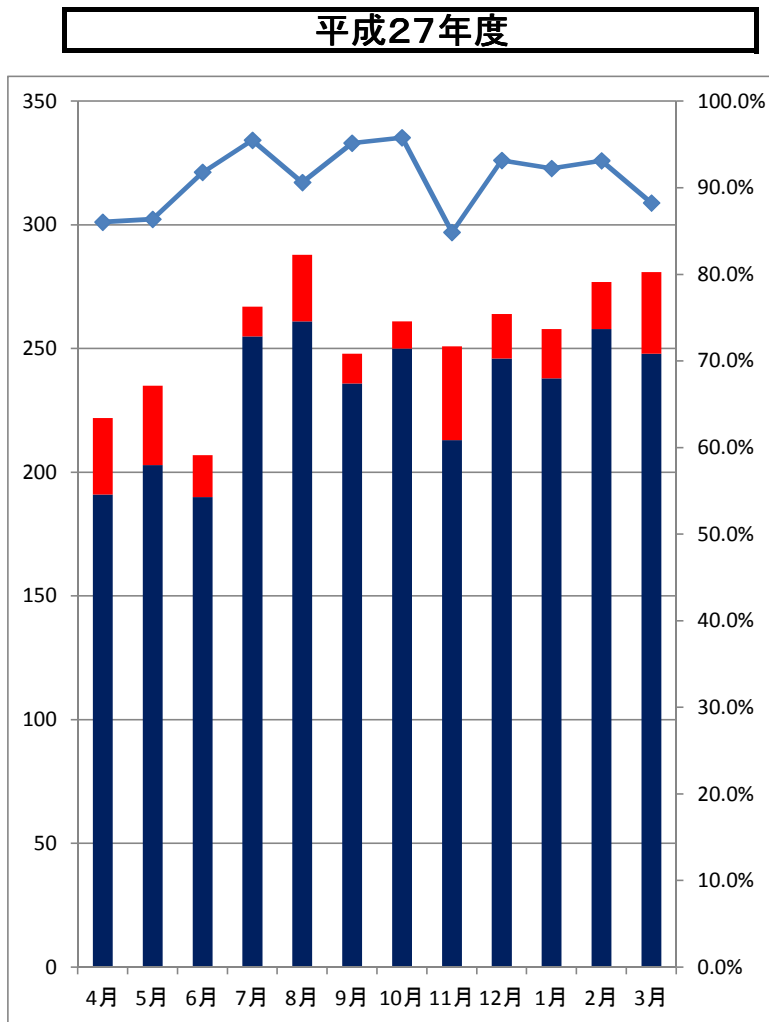
番号	疾病名	基準(基準を満たすもののみ数えること)	患者数 (人)	退院・転院 (転棟を含む) (人)	死亡 (人)
1	病院外心停止	病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む	150	11	139
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞又は緊急冠動脈カテーテル施行例	96	89	7
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂	38	32	6
4	重症脳血管障害	来院時JCS 100以上、開頭術、血管内手術施行例又はtPA療法施行例	173	144	29
5	重症外傷	Max AISが3以上又は緊急手術施行例	259	235	24
6	重症熱傷	Artzの基準による	9	8	1
7	重症急性中毒	来院時JCS 100以上又は血液浄化法施行例	7	7	0
8	重症消化管出血	緊急内視鏡施行例	33	30	3
9	重症敗血症	感染性SIRSで臓器不全、組織低灌流又は低血圧を呈する例	140	120	20
10	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈する例	13	11	2
11	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等	6	5	1
12	重症呼吸不全	人工呼吸器管理症例(1から11までを除く。)	44	24	20
13	重症急性心不全	人工呼吸器管理症例又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABP使用症例(1から11までを除く。)	97	86	11
14	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血必要例(1から11までを除く。)	24	22	2
15	重症意識障害	JCS 100以上が24時間以上持続(1から11までを除く。)	34	27	7
16	重篤な肝不全	血漿交換又は血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	3	2	1
17	重篤な急性腎不全	血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	25	23	2
18	その他の重症病態	重症肺炎、内分泌クレーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換又は手術療法を実施した症例(1から17までを除く。)	11	9	2
合計			1162	885	277

「5.重症外傷」の内訳

		患者数 (人)	退院・転院 (転棟を含む) (人)	死亡 (人)
AIS ≥ 3	AIS ≥ 3が2つ以上の症例	49	41	8
	開放骨折	9	9	0
	その他	199	183	16
緊急手術症例 (AIS < 3)	開放骨折	0	0	0
	その他	2	2	0
		259	235	24

15. 応需率調べ

1. 月別応需率

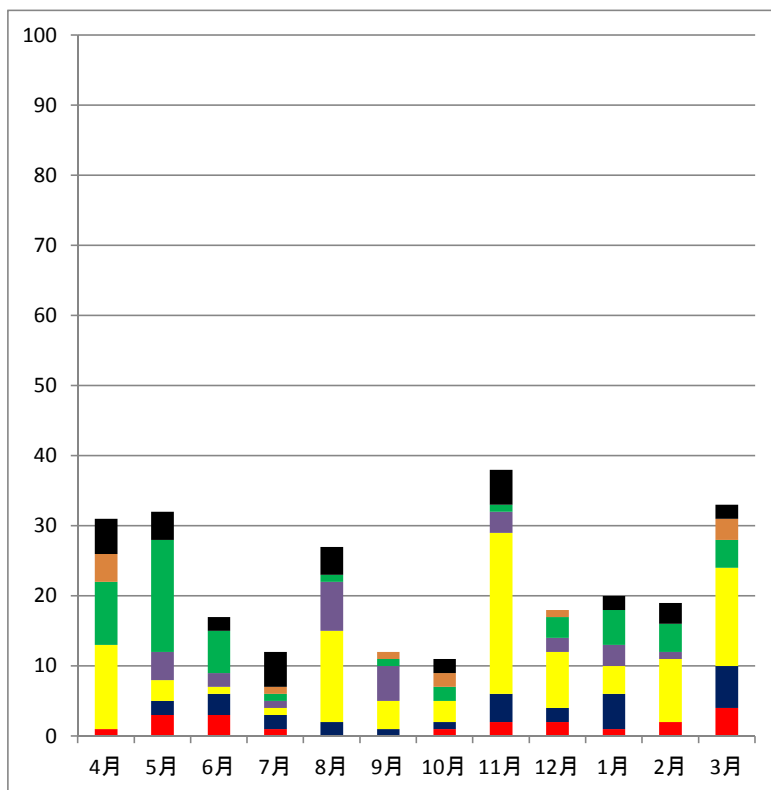


平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	222	235	207	267	288	248	261	251	264	258	277	281	3059
■受入件数(件)	191	203	190	255	261	236	250	213	246	238	258	248	2789
■収容不可(件)	31	32	17	12	27	12	11	38	18	20	19	33	270
◆応需率(%)	86.0%	86.4%	91.8%	95.5%	90.6%	95.2%	95.8%	84.9%	93.2%	92.2%	93.1%	88.3%	91.2%

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	288	258	257	316	325	272	306	252	324	329	294	295	3516
■受入件数(件)	271	238	238	292	299	252	284	222	293	281	220	274	3164
■収容不可(件)	17	20	19	24	26	20	22	30	31	48	74	21	352
◆応需率(%)	94.1%	92.2%	92.6%	92.4%	92.0%	92.6%	92.8%	88.1%	90.4%	85.4%	74.8%	92.9%	90.0%

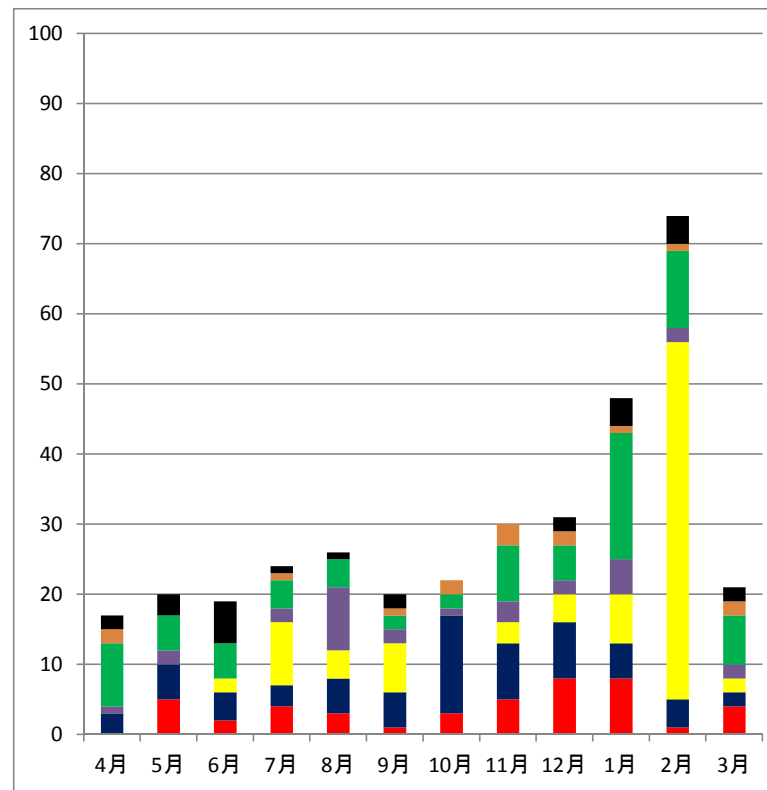
2. 収容不可理由別件数

平成27年度



平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車・ヘリ重複	1	3	3	1	0	0	1	2	2	1	2	4	20
OP対応不可	0	2	3	2	2	1	1	4	2	5	0	6	28
満床	12	3	1	1	13	4	3	23	8	4	9	14	95
小児輪番を勧める	0	4	2	1	7	5	0	3	2	3	1	0	28
かかりつけ・近医・1次2次を勧める	9	16	6	1	1	1	2	1	3	5	4	4	53
特殊科	4	0	0	1	0	1	2	0	1	0	0	3	12
その他	5	4	2	5	4	0	2	5	0	2	3	2	34
合計	31	32	17	12	27	12	11	38	18	20	19	33	270

平成28年度

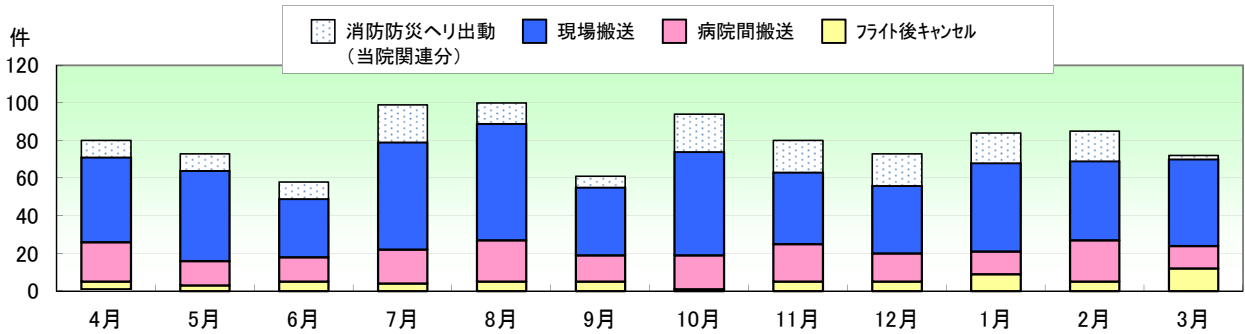


平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車・ヘリ重複	0	5	2	4	3	1	3	5	8	8	1	4	44
OP対応不可	3	5	4	3	5	5	14	8	8	5	4	2	66
満床	0	0	2	9	4	7	0	3	4	7	51	2	89
小児輪番を勧める	1	2	0	2	9	2	1	3	2	5	2	2	31
かかりつけ・近医・1次2次を勧める	9	5	5	4	4	2	2	8	5	18	11	7	80
特殊科	2	0	0	1	0	1	2	3	2	1	1	2	15
その他	2	3	6	1	1	2	0	0	2	4	4	2	27
合計	17	20	19	24	26	20	22	30	31	48	74	21	352

16. ドクターヘリ出動実績集計表(平成28年度)

①出動内訳

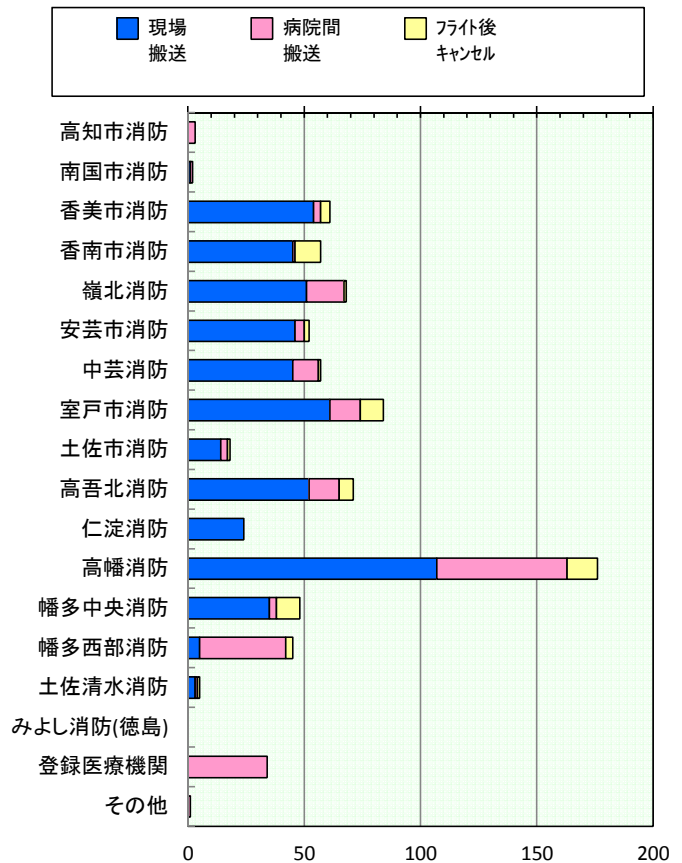
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	27年度
ドクターヘリ出動		70	64	49	79	89	55	74	63	56	68	69	70	806	748
出動区分	現場搬送	45	48	31	57	62	36	55	38	36	47	42	46	543	464
	病院間搬送	21	13	13	18	22	14	18	20	15	12	22	12	200	234
	フライト後キャンセル	4	3	5	4	5	5	1	5	5	9	5	12	63	50
1日あたり件数		2.33	2.06	1.63	2.55	2.87	1.83	2.39	2.10	1.81	2.19	2.46	2.26	2.21	2.05
消防防災ヘリ出動 (当院関連分)		9	9	9	20	11	6	20	17	17	16	16	2	152	189
医師同乗あり		5	4	5	11	3	3	11	11	8	8	13	0	82	118
医師同乗なし		4	5	4	9	8	3	9	6	9	8	3	2	70	71
他院間で他院医師同乗		0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	4	3
徳島県ドクターヘリ出動 (高知県への出動分)		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	4
出動区分	現場搬送	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	3
	病院間搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フライト後キャンセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1



②出動内訳(消防別)

※ドクターヘリ出動分

消防名	計	28年度			27年度
		現場搬送	病院間搬送	フライト後キャンセル	
高知市消防	3	0	3	0	5
南国市消防	2	1	1	0	0
香美市消防	61	54	3	4	30
香南市消防	57	45	1	11	47
嶺北消防	68	51	16	1	58
安芸市消防	52	46	4	2	52
中芸消防	57	45	11	1	35
室戸市消防	84	61	13	10	87
土佐市消防	18	14	3	1	37
高吾北消防	71	52	13	6	55
仁淀消防	24	24	0	0	19
高幡消防	176	107	56	13	197
幡多中央消防	48	35	3	10	53
幡多西部消防	45	5	37	3	29
土佐清水消防	5	3	1	1	8
みよし消防(徳島)	0	0	0	0	2
登録医療機関	34	0	34	0	34
その他	1	0	1	0	0
出動件数	806	543	200	63	748



③ドクターヘリ他院搬送実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	28年度		27年度
															小計	
近森病院	現場	6	1	9	12	7	4	9	10	7	8	6	4	83	114	83
	転院	2	1	3	2	2	3	4	4	6	3	1	31			
高知赤十字病院	現場	3	2			1	1	4			1		2	14	33	36
	転院		2	2	2	3	3	1		1	1	2	2	19		
高知大学医学部 附属病院	現場	2	3		2	2		1		1	2	1	1	15	20	19
	転院							1	1	1	1	1		5		
幡多けんみん 病院	現場	2	1		1	4	2	1	1				1	13	13	7
	転院													0		
あき総合病院	現場	2		1	2	2	1	1		1	1	2	1	14	14	11
	転院													0		
その他県内	現場							1		1			1	3	4	5
	転院										1			1		
県外	現場													0	14	11
	転院	1	2	1	1	3		1	1	1		3		14		
合計	現場	15	7	10	17	16	8	17	11	10	12	9	10	142	212	172
	転院	3	5	6	5	8	6	7	6	9	3	9	3	70		

④ドクターヘリ年度別運航実績

